

PTA会報

第109号
2022.7.21

岩手県立花巻北高等学校

〔編集・発行〕
花巻北高等学校PTA調査広報委員会
岩手県花巻市本館54 TEL.0198-23-4134
<http://www2.iwate-ed.jp/hkn-h/>



応援歌練習



入学式



入団式



昼間歩行



壮行式



体育大会



ごあいさつ



湯川 宏胤
花巻北高等学校PTA
教育振興会 会長

皆様には日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

令和4年度PTA・教育振興会会長を拝命しました湯川宏胤と申します。微力ではございますが子ども達のため、花高のために努力して参りますので何卒よろしくお願ひします。

長引くコロナ禍は3年目に入り、多くの制約を受けながらの学校生活が続いております。生徒達は大変頑張っておりますが、時には文武の大事な局面で力を発揮することが出来ないこともあるかと思ひます。人生には必ずいくつかの試練が訪れますが、黒橋魂とともに花の2区を走行中の花高生はきつと前を向いて乗り越えられると信じています。このような難しい状況下でも、最新の注意を払いながら学習、部活動の他、花高独自の学びの祭典やH×ACT、魅力的な学校行事などを通して生徒達が主体性を持ち、これからの時代を生き抜いていけるよう一生懸命ご指導くださる先生方に心より感謝申し上げます。生徒達は高総体、前期中間試験を

終え、夏を迎え3年生はいよいよ本格的に受験生に、2年生は責任学年に、対面式・応援歌練習を終えた1年生はすっかり花高生らしい顔になったことと思ひます。

さて昨年花高は創立90周年を迎え、10月には記念式典が文化会館において厳粛に行われました。記念講演では佐藤昌介氏、新渡戸稲造氏ら郷土の先人達の強い絆と高い志、そしてその薫陶を受けた初代校長の佐藤昌氏から脈々と受け継がれる花高の精神と歴史を学び、生徒達とともに強い感銘を受けました。また、先日のプロフェッショナル仕事の流儀(NHK)には本校OBにて世界が注目する脳神経外科医の谷川緑野先生が出演されました。「あたりまえのことをあたりまえにやる。」「自分の計画したことをきちんとやる。」という先生の言葉は何事を成すにも重要な心構えであると感じました。

「百年生きる君たちが花高百年の学びを創る」をきっかけ、花高では創立100周年に向け生徒達の学ぶ力の育成と人間力の育成に取り組んでおります。またPTA活動の一環として、今年度は3年ぶりにPTA研修旅行が7月に挙行されました。PTA役員一同、先生方と手を携え、子ども達の挑戦を応援して参りたいと存じます。今後ともご協力の程よろしくお願ひ致します。

PTA総会報告

PTA・教育振興会定期総会は、4月28日(金)に開催されました。総会に先立って、「奥・井ノ上記念日本青少年国連訪問団」の報告、「花巻北高校スペースプロジェクト」代表ミッションの発表、応援団幹部の「校歌、エール」の披露が行われるなど、生徒の活動が紹介されました。

続いて、学校概況説明では、校長からは生徒の行動に対する地域住民からのお礼のエピソードを含めた生徒の主体的な活動について、

て、進路指導課長からは昨年度の進路実績と進路指導の説明がありました。

総会では、令和3年度事業報告および各種会計決算について、続いて令和4年度事業計画および各種会計予算について、それぞれ承認いただきました。昨年度実施できなかった事業を、今年度は工夫しながら実施することでPTA活動の継続と活性化を図りたいと考えております。

プログラム

- 13:05~13:55 授業参観
- 14:10~14:40 生徒発表会
 - ・奥・井ノ上記念日本青少年国連訪問団報告
 - ・「花巻北高校スペースプロジェクト」代表ミッションの発表
 - ・校歌、エール紹介(応援団)
- 14:45~15:20 学校概況説明(校長・進路課長)
- 15:30~16:10 PTA・教育振興会定期総会
- 16:20~17:00 1・2学年学級懇談会[各教室]
- ~17:30 3学年PTA研修会[多目的教室]

令和4年度 岩手県立花巻北高等学校 PTA・教育振興会 定期総会議案

- 第1号議案 令和3年度事業報告並びに令和3年度各種会計決算報告
- 第2号議案 令和4年度事業計画並びに令和4年度各種会計予算案
- 第3号議案 令和4年度役員選出について
- 第4号議案 その他



2 学年進路講演会

令和4年5月31日(火) 5・6校時 224名出席

講師

【岩手大学】

人文社会科学部 地域政策課程…准教授 朴 香丹 先生
 教育学部 学校教員養成課程…教授 藤井 義久 先生
 理工学部 化学・生命理工学科…教授 竹口 竜弥 先生
 理工学部 数理・材料理工学科…教授 山口 明 先生
 農学部 共同獣医学科…教授 佐藤 洋 先生

【岩手県立大学】

看護学部…教授 高橋 有里 先生
 総合政策学部…准教授 桑原 尚子 先生
 ソフトウェア情報学部…博士課程 阿部 佳宣 先生



2 学年進路講演会



1 学年進路講演会

1 学年進路講演会

令和4年5月31日(火) 5・6校時 230名出席

講師並びに演題

広瀬 千晶 氏 (岩手県ものづくり自動車産業振興室主任)
 「寄り道で見つけた大切なこと」
 三國 卓郎 氏 (和同産業株式会社常務取締役)
 「勉学と仕事について」

3 学年PTA研修会

第1回 令和4年4月28日(木) PTA総会後 79名出席

1. 3 学年PTA会長あいさつ
2. 校長あいさつ
3. 進路指導について
4. 学年概況について

第2回 令和4年6月16日(木) 17:30～18:30 89名出席

講師 繁泉 祐幸 氏

(養賢ゼミナール入試情報分析室・室長)

演題

「[あたま]と[こころ]と[からだ]が《まなぶ》につながる」

講師の繁泉先生から、35冊読書リストを紹介していただきました。注意点等として以下の点が示されました。

▽文章内容・意図・テーマ等々の理解が不十分、あるいはほとんど理解できないという状態であったとしても、35冊読書リストを

読破するという事実が最重要課題となる。

▽1日30分程度で充分だが、毎日、必ず《読書タイム》を設ける。



35冊読書リスト

芥川龍之介『羅生門』	中村雄二郎『術語集Ⅰ、術語集Ⅱ』
有吉佐和子『華岡青洲の妻』	永井龍男『青梅雨』
石川達三『蒼氓』	西沢潤一『独創は闘いにあり』
井上靖『額田女王』	野坂昭如『火垂るの墓』
大野晋『日本語の年輪』	堀田善衛『方丈記私記』
川端康成『山の音』	堀辰雄『風立ちぬ』
梶井基次郎『檸檬』	丸谷才一『日本語のために』
亀井勝一郎『大和古寺風物誌』	三木清『人生論ノート』
串田孫一『山のパンセ』	三島由紀夫『金閣寺』
幸田文『父』	三浦哲郎『ユタとふしぎな仲間たち』
小林秀雄『無常ということ、考えるヒント』	武者小路実篤『幸福者』
志賀直哉『小僧の神様、城の崎にて』	森鷗外『阿部一族』
高野悦子『二十歳の原点ノート』	養老孟司『バカの壁』
外山滋比古『思考の整理学』	鷲田清一『大事なものは見えにくい』
夏目漱石『硝子戸の中』	フランクル『夜と霧』
中島敦『悟浄歎異、悟浄出世』	

委員長 小田島成良(2D)はな	副委員長 小川久美子(1A)日菜子	副委員長 曾原 香(1B)明	副委員長 佐藤 知恵(2B)菜々子	副委員長 遠藤 茂樹(3A)輝人	副委員長 吉田 幸代(2B)快	副委員長 高橋 義幸(3F)実香	副委員長 上平 和恵(1A)空潤	副委員長 藤田久美子(2A)若葉	副委員長 奥山 雅史(2D)皓成	副委員長 奥山 俊至(1B)桜帆	副委員長 照井 儀明(1B)慧	副委員長 平賀 裕貴(1D)瑞己	副委員長 佐藤 広道(2A)美優	副委員長 安藤 則彦(3F)伊織	副委員長 高橋 宏明(3E)佑輔	副委員長 八木 稔和(3A)太洋	副委員長 鎌田 勝彦(1C)絵梨	副委員長 伊藤 広光(2D)深月	副委員長 鈴木 卓也(3C)麗奈	副委員長 須川 和紀	副委員長 高橋 研介(3F)花笑	副委員長 蟹澤 一憲(3C)美聡	副委員長 鈴木 博(2E)ひまり	副委員長 藤原 正樹(3D)洗輝	副委員長 阿部 智学(1C)ゆきの	副委員長 猫塚 修一(2B)創太	副委員長 古川 昌(3B)弦	副委員長 湯川 宏胤(3F)笑璃	副委員長 岩間 敦子(3C)菜遙	副委員長 瑞保(2D)璃武	副委員長 多田 真弓(1E)実音	副委員長 高橋 久美(3E)碧羽	副委員長 藤井めぐみ(3E)菜名	副委員長 滝田千佳子(2E)健悟	副委員長 細川 陽恵(2F)岳	副委員長 杉内 哲子(1B)佑理	副委員長 篠田 葉子(1E)稜	副委員長 野口 雄也(3B)瑠斗	副委員長 伊藤 朋子(3F)優希	副委員長 多田奈津紀(2A)詩月	副委員長 千葉 友紀(1D)麗々	副委員長 瀬戸智香子(3A)宏智	副委員長 高橋 拓史(2C)有佳	副委員長 中辻 孝代(1C)亮太郎	副委員長 奥富 幸子(3B)広将	副委員長 松田 貴幸(3C)大	副委員長 上野 定之(3D)隆司	副委員長 平賀 保(3D)築	副委員長 永田真知子(2A)美桜	副委員長 山下 靖子(2C)夏葵	副委員長 菅原 一雄(2E)大誠	副委員長 佐藤 景子(2F)希美	副委員長 島山あさみ(1C)ひいろ	副委員長 三好美和子(1D)瑛心	副委員長 赤平奈津子(1F)真優子	副委員長 中村ちか子(1F)鼓々	副委員長 野口 雄也(3B)瑠斗	副委員長 伊藤 朋子(3F)優希	副委員長 多田奈津紀(2A)詩月	副委員長 千葉 友紀(1D)麗々	副委員長 瀬戸智香子(3A)宏智	副委員長 高橋 拓史(2C)有佳	副委員長 中辻 孝代(1C)亮太郎	副委員長 奥富 幸子(3B)広将	副委員長 松田 貴幸(3C)大	副委員長 上野 定之(3D)隆司	副委員長 平賀 保(3D)築	副委員長 永田真知子(2A)美桜	副委員長 山下 靖子(2C)夏葵	副委員長 菅原 一雄(2E)大誠	副委員長 佐藤 景子(2F)希美	副委員長 島山あさみ(1C)ひいろ	副委員長 三好美和子(1D)瑛心	副委員長 赤平奈津子(1F)真優子	副委員長 中村ちか子(1F)鼓々
--------------------	----------------------	-------------------	----------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	-------------------	---------------------	---------------------	------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	--------------------	---------------------	--------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	--------------------	---------------------	-------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	--------------------	---------------------	-------------------	---------------------	---------------------	---------------------	---------------------	----------------------	---------------------	----------------------	---------------------

令和4年度PTA・教育振興会役員 各種委員会

花高生の総合的な探究の時間 H×ACT [Hanakita×ACT(ハクト)]

総合的な探究の時間 担当 多田 昌弘

「誰もが携帯電話を持ち、容易に検索できるようになった今、「調べたこと」に価値はありません。「行動すること」にこそ価値があります。失敗してもいいので「行動できる」花高生になってください。その思いから、



代表生徒が学年発表

昨年度からの花高の「総探（総合的な探究の時間）」は、H×ACT という名のもとに、いろいろな企画を打ち出しています。皆さんそれぞれの探究テーマを、ぜひ発展させてください。」年度初めの集会で全1年生に向けて伝えました。

①ハクスタ②ハクプレ③ハクレク④ハクフィ。この4つの行事が、生徒の探究活動を主に支えています。①ハクスタ。ハクスタの時間となる木曜日6校時は、2年生が各グループ、3年生は各自が設定した探究テーマに沿って、それぞれの探究を進めます。3年生は最終的にハクロンと呼ばれる論文の提出をめざし、探究

活動を形にします。②ハクプレ。探究内容の発表活動を通して、それぞれの探究の進捗状況を発信し共有します。質疑応答を通して、協働的な学びを深めます。③ハクレク。「着想から行動へ」というテーマのもと行われる講演会で、今年度は9月に実施予定です。④ハクフィ。1・2年生が10月に校外へ出かけ、それぞれの探究を発展させるための調査活動を行います。

H×ACT を通じて、花高生はこれまで以上に「行動」していきます。ご家庭でのご支援をよろしくお願いいたします。



ハクゼミ(中間発表会)で協働的な学び



1年生が先輩にインタビュー

花巻北高校スペースプロジェクト



UP花巻 担当 川口 潤

「みなさんは、これから、世界で一番、宇宙に近い高校生になってもらいます。衛星を打ち上げるミッショングループの一員です。」

3月に実施された(新1年生は4月)ミッション検討会ガイダンスの冒頭、Space BDの社員の方から、全校生徒に投げかけられたこのメッセージと共に、宇宙プログラム「UP花巻」の全容が明らかにされました。この宇宙プログラム「UP花巻」は、花巻市の企業SPACE VALUE代表社員の安藤修一氏(本校OB)が発起人となり、Space BD株式会社協力のもとスタートしました。

このプログラムは、2024年初頭に打ち上げる本校独自の衛星の開発過程・運用を実践の場として活用し、全校生徒が2年以上にわたる宇宙に関する技術とビジネス両面での横断的学習の機会を得ることで、中長期で地域・産業活性化をリードする人材の育成を目指しています。

今後、大きく分けて、次の6つの取り組みを行っていきます。

(1) 衛星開発

本校独自のミッションを担う衛星の意義を議論し、そのミッション内容を考え、開発から運用までを追体験します。4月26日、花巻市総合体育館にて行われた、衛星開発「ミッション決定会」では、全校生徒が考えた180を超えるミッションの中からNo.1が選ばれました。

(2) Space BD プログラム (ワークショップ)

衛星開発と並行して、同じ工程に必要な要素や、宇宙飛行士に必要なスキルをワークショップ等を通して学びます。昨年12月に現2,3年生が体験した「開封ゲームワークショップ」では、

様々な制限された環境で作業をする難しさや、コミュニケーションの大切さを学びました。

(3) 東京大学プログラム

衛星開発の第一人者の講義を聴き、その先生のご指導の下、衛星開発の一端である「缶サット」に今年の夏、全校で取り組みます。

(4) 岩手医科大学プログラム

地上でのタンパク質結晶化実験を通して、大学での科学実験を体験するとともに、宇宙で結晶化させたものと比較検討することで宇宙実験の重要性を学びます。

(5) ゲストスピーカー (講演会)

宇宙ビジネスに挑む、未知への挑戦を題材とした貴重な方々の講演会を予定しています。

(6) キャリアプログラム

宇宙への輸送手段の提供と国際宇宙ステーション (ISS) をはじめとする宇宙空間の利活用のビジネスプランの検討や技術的な運用支援を提供する「宇宙商社 Space BD(株)」の多様な経歴を持つ社員の方と交流することで、生徒自身のキャリアを考える機会を設け、今後の進路選択、進路実現へ役立てていきます。このようないくつものプログラムに生徒たちがワクワクし楽しみながら参加することが、自分の将来設計と進路実現への一助となっていくことを希求しております。



世界で一番 宇宙に近い高校生になる

校長 須川 和紀

PTA会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に對しましてご支援、ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。この4月からお世話になっております校長の須川和紀と申します。どうぞ宜しくお願いいたします。

最初に、本校の近況を報告いたします。今年度入学生は男子110名、女子124名の234名を迎え、全校生徒688名となっており、生徒たちは、順調にスタートを切り、勉強に部活動に充実した学校生活を送っております。部活動では、弓道女子個人、アーチェリー男女個人で四国インターハイの出場権を獲得しました。東北大会には多くのクラブが出場します。野球部も昨年新人戦ベスト8に続き、春の県大会にコマを進めました。文化部でも、文芸部、放送部が全国大会に出場します。

今年度は、「ワクワク花高」「チャレンジ花高」「チェインジ花高」「イーハトーブ花巻から宇宙へ」をキャッチフレーズに、生徒たちには「熱狂」「逆境」「越境」を意識して高校生活を満喫してほしいと

考えています。

今年度の取組の中でも、昨年からスタートしたスペース（宇宙）プロジェクトが全国に類を見ない取組として挙げられます。4月に全校生徒が参加し花巻市総合体育館で行われたミツシヨン決定会は新聞、テレビ等でも取り上げられました。来年度の人工衛星打ち上げ、その後の運用に向けて、この2年間で全校生徒がその準備に係る過程を体験しながら、これからの社会に貢献できる人材に必要な資質・能力を身につけていきます。衛星開発の日本の第一人者である東京大学の中須賀先生のプログラムや岩手医大の阪本先生のタンパク質結晶化実験、その他にも、このプロジェクトを企画しているSpace BDによるワークショップや社員によるキャリアガイダンス、宇宙飛行士を含むJAXA職員による講演会も予定されています。まさに、花高生は宇宙に一番近い高校生になります。

創立100周年に向けて新たなスタートを切った本校に今までと変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



前日までのゲリラ豪雨の影響で、応援団幹部と有志による盛岡の県営球場からの夜間歩行は残念ながら中止となりました。明けて6月28日。3年生による、共通テスト200日前の昼間歩行、こちらもぎりぎりまで開催が危ぶまれましたが、なんとか

2年ぶりのPTA研修旅行

進路研修委員長

上平 和恵（空潤保護者）

2年ぶりに開催できたPTA研修旅行、感染症が終息へと向かいつつあると感じました。

当日は暑すぎもせず、雨も降らずと天候に恵まれていました。

午前の岩手大学では、准教授による学部の説明を受け、構内にある農学部の農地の見学をしました。特に魅力を感じたのが留学制度です。語学力や海外スキルを身につけ、新しい文化や習慣に触れることで世界

決行することができました。そば降る雨の中、カサやカッパを携えての昼間歩行でした。まず目指すのは「黒橋」。現在の桜台小学校前の、「まことの坂」の途中にある、釜石線を跨ぐ小さな線橋です。かつてはこの地に本校の校舎がありました。釜石線を走る蒸気機関車の煙で黒くなったため、正式名称の「白橋」は本校生からいつしか「黒橋」と呼ばれるようになり、そこから「黒橋魂」という言葉が生まれたのです。

「まことの坂」を登りきり、そこから道路をさらに南下。一行が目指すはちょうど200日後に共通テストの会場となる富士大学、そのすぐそばにある県立農業ふれあい公園です。不動大橋をわたったあとは一直線の道路。そこから降り始めた雨二モ負ケズ、風二モ負ケズ、花高健児はもくもくと歩み続けました。そんな生徒たちの黒橋魂に根付けたのか、ゴールの県立農業ふれあい公園に到着するこ

観・価値観を変えてくれることもあると感じたからです。

午後の岩手県立大学では、大学全般の説明のあと、在学生のCA（キャンパス・アテンダント）の方のスピーチと構内ツアーでした。CAの皆さんのスピーチはとてもイキイキとしていて、未来に向かって輝いていると感じました。ソフトウエア情報学部は、AIやiPS細胞の研究やプログラミング等、私の学生時代にはなかったものばかりで、未来はどんどん進化していくのだという勢いを実感しました。大卒の学歴は就職だけでなく、本人の知識の向上や自

ろには、すっかりと雨もあがっていました。昼食・休憩のあとは、ふたたび学校を目指します。例年であればそのまま花巻市営球場に向かい、そこで壮行式を実施するのですが、天候の心配もあり今年度は学校での開催です。曇天ではありましたが、時折吹き抜けるさわやかな風の中、帰り道の一行の足取りは軽くなります。予定より20分も早く学校に戻ってくることができました。

さて、今回の昼間歩行は、悪天候にもかかわらず、一人の脱落者もありませんでした。3年生の皆さん、この頑張りや200日後にも発揮してください。

3年生の帰校ののち、1、2年生を交えて第一体育館での壮行式が盛大に行われたのでした。全国大会に出場する各部と夏の大会を控えた野球部は、持てる集中力と技量を発揮し、それぞれの活躍の場を思う存分がんばってきてください。健闘を期待いたします。

信につながります。方向転換もありですが、ぜひ目標をもって進むべき進路だと思えました。

有意義な視察研修でした。計画に携わった皆様、当日参加された皆様へ感謝いたします。ありがとうございました。



参加者65名(1年生19名、2年生22名、3年生24名)



東北大会・全国大会出場 おめでとうございます!!

弓道部(東北大会)

女子団体
女子個人 小原啓華(3年) 岩間菜遥(3年)

弓道部(インターハイ)

女子個人 小原啓華(3年)

アーチェリー部(東北大会・インターハイ)

男子個人 茨島孝紀(3年)
女子個人 佐藤和奏(3年)

剣道部(東北大会)

男子団体 女子団体
男子個人 菅崎大道(2年) 照井鷲平(2年)

ハンドボール部(東北大会)

男子

陸上競技部(東北大会)

やり投 三浦鉄生(2年)
200m 石川康明(3年)
三段跳 佐藤璃苑(2年)
5000mW 吉田寿莉(3年)
400mH 佐藤美優(2年)

テニス部(東北大会)

女子ダブルス
藤井菜名(3年)・鈴木彩珠(3年)組

テニス部(東北ジュニア選手権大会)

U18女子シングルス 藤井菜名(3年)
U18女子ダブルス
藤井菜名(3年)・佐々木(盛岡四)組

水泳部(東北大会)

男子400mリレー
瀬川佳晃・松井梗輔・鎌田大輝・白藤楓
(いずれも2年)

女子100m自由形 和賀結(1年)
女子200m自由形 和賀結(1年)

柔道部(東北大会)

男子個人 60kg級 菅原隼勢(3年)

文芸部(全国大会)

詩部門 八重櫻怜(3年)



部員数一覧	部名	硬式野球	陸上競技	サッカー	ソフトテニス	バレーボール	バドミントン	バスケットボール	卓球	ハンドボール	柔道	剣道	弓道	水泳	テニス	アーチェリー	運動部計	吹奏楽	合唱	美術	軽音	文芸	写真	科学	英語	囲碁・将棋	茶道	放送	文化部計	無所属	合計						
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計							
	28	4	32	18	0	18	23	15	23	23	15	24	19	16	11	24	6	13	33	9	14	4	257	7	2	6	21	5	4	13	0	8	0	2	68	8	333
	21	21	42	0	8	21	18	17	7	15	4	4	39	2	8	10	178	40	1	14	24	10	27	1	13	0	23	18	171	6	355						
	32	25	57	18	8	39	37	33	18	30	10	17	72	11	24	435	47	3	20	45	15	31	14	13	8	23	20	239	14	688							